



LRQAとカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト (CDP)

戦略的パートナー

ロイド レジスター クオリティ アシュアランス (LRQA)は、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)の戦略的パートナー企業として、第三者検証プロセスの重要性をよりよく理解するためのCDP参加企業向け検証戦略の開発に携わってきました。

CDPは何をもたらすか？

CDPは独立系非営利組織 (NPO) で、気候変動に関する情報を測定、開示、管理、共有するためのグローバルシステムを提供しており、今や、そのシステムを利用する企業は3,000社以上にのぼります。CDPは、ビジネス、政策、投資に関する決定の中心に関連情報を据えることによって、気候変動の解決を促進しています。この使命に向けて、CDPでは次の3つの主要な戦略的目標を定めています。

- **グローバル化** - 世界の主要経済国で温室効果ガス排出量の測定、管理、削減を奨励するために、すべてのプログラムをグローバル化していきます。
- **データ品質** - 投資、ビジネス、政策に関する決定の際のデータ利用を推進するために、収集したすべてのデータの完全性、正確さ、比較可能性を確保していきます。
- **緩和** - 世界中の企業に温室効果ガス(GHG)排出量削減を促していきます。

「エンブラエルは検証プロセスの全体を通し、情報を利用してプロセスを修正・改善するとともにビジネスの多様な分野を統合できることで、利益を得られることがわかりました。」

エンブラエル(ブラジル 航空機メーカー)



検証の価値

比較可能で確かなデータを提供するために、全世界の企業温室効果ガス排出量報告では独立した検証が急速に重要性を増し、不可欠な部分になりつつあります。測定と開示は、企業がデータ収集から温室効果ガスの管理へと削減を進めていく過程の大きな第一歩です。測定しなければ、管理することはできません。そして、企業がこの過程をさらに前進させるための次の大きなステップは、第三者による気候データの検証です。

検証の利点

CDP報告書のための気候変動データの独立した検証によって、企業は数多くのメリットを得られます。

- **市場の需要への対応**: 企業内外のステークホルダーの間で、その企業の戦略、リスク、成長機会を把握できるような情報の需要が高まっています。
- **現在および将来の規制への準拠**: 欧州排出量取引制度 (EU-ETS)、カリフォルニア大気資源局、東京温暖化ガス排出量取引制度のような、市場機構の数が増えつつあります。これらの規制スキームは、報告されるGHGデータの完全性、正確性、品質に依存しており、企業には基礎となる排出量データに対する説明責任が求められます。
- **社外からの認識の改善**: 公開された報告内容の第三者による保証は、CDPのスコアリングの手法と指標を通して認識される社外ステークホルダーからの信頼性を、大幅に高めることができます。
- **市場アクセスの提供**: バイヤーおよび投資家が、環境パフォーマンスの主張に対して独立した裏付けを得ることができます。
- **継続的な改善**: 検証は、社内プロセスの改善に役立ちます。
- **リスクと機会の確認**: 検証により、それぞれのシステムが目的に適合しているかどうかの確認を得ることができます。
- **競争上の優位**: 信頼性のあるGHG排出量報告は社内外にとって、効果的な排出量削減戦略を伝える基準となり得ます。

LRQAは、ビジネス アシュアランスを通して常に他との差別化を図っています。ビジネス アシュアランスは、ビジネス上の課題、システム、リスクの管理に役立ち、お客様が現在および未来の環境パフォーマンスを改善・安定させるとともに、ステークホルダーのニーズに対応できるよう支援します。

LRQAの気候サービスについて詳しくは、www.climate-change.jpをご覧ください。または、LRQA-Japan-Marketing@lrqa.com宛てにEメールでお問合わせください。CDPの検証に関するホワイトペーパーは、www.cdproject.netでお読みいただけます。



LRQAについて

LRQAはロイド レジスターグループのメンバーで、幅広い分野の認証、有効化審査(妥当性確認)、検証、研修を含む、ビジネス アシュアランス サービスを提供しています。LRQAは45を越える認定機関によって認められ、世界120か国以上のお客様にサービスを提供しています。

気候変動およびサステナビリティの分野でのLRQAのサービスには、ISO 14001、ISO 50001、ISO 14064、欧州排出量取引制度(EU-ETS)、PAS 2050、CSRレポート検証、クリーン開発メカニズム (CDM)、共同実施 (JI)、その他広範囲にわたる地域および国の規格とスキームが含まれています。

LRQAのビジネス アシュアランスは、気候変動の課題、システム、リスクの管理に役立ち、お客様が現在および未来の環境パフォーマンスを改善・安定させるとともに、ステークホルダーのニーズに対応できるよう支援します。

ロイド レジスター グループは、生命、財産、環境の安全性を高めるためにハイリスクの資本集約的資産を運用する企業に、独立した保証を提供し、お客様の安全で信頼ある持続的経営を支援しています。

LRQAの専門知識

思想的リーダーシップ (Thought Leadership) : LRQAは、規格およびスキームの開発に卓越したリーダーシップの役割を担っています。LRQAのエキスパートは業界で高く評価され、規格を開発・改善する技術委員会に常時参加しています。

LRQAが関与している組織には、国際標準化機構 (ISO)、国際排出量取引協会 (IETA)、世界資源研究所 (WRI)、持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD)、排出権取引グループ (ETG) などがあります。また、自主的なカーボン基準 (VCS) の策定に責任を持ち、CDM/JI認定審査機関協会の創設メンバーで副会長です。LRQAはカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト (CDP) の戦略的パートナーです。

豊かな経験と高度な教育を誇る世界的に名高い気候変動エキスパートは、技術的ノウハウとプロジェクト管理の専門知識を備えているため、LRQAでは保証サービスをお客様のビジネス上のニーズに最適なものとすることができます。LRQAは、第一級のプロジェクト管理とコミュニケーション・スキルで裏付けられた国際的専門知識と深い洞察力を、気候変動の複雑な世界にもたらします。

LRQAの気候変動サービス

ギャップ・アナリシス / Gap Analysis

お客様が計画・期待するシステムやパフォーマンスと、現状のギャップを把握できます。

有効化審査(妥当性確認) / Validation

プロジェクト設計のデータと文書化を確認します。LRQAの確認意見書は、お客様が合意済み基準に則して温室効果ガスの除去または温室効果ガス排出量削減を実施できることを確認します。

検証 / Verification

お客様の気候変動データおよび情報の報告書が、真実かつ公正で信頼でき、効果的な管理システムによってサポートされていることを保証します。

認証 / Certification

世界的に認められたLRQAのビジネスアシュアランス評価手法により、お客様のステークホルダーに信頼性を提供します。ISO 14001およびISO 50001の場合、LRQAが正しく審査を行い、テクニカル・レビューの承認が得られると、LRQAがお客様に登録証を発行します。

研修 / Training

気候変動分野の最新の展開に関して、お客様が常に最新の情報を入手できるようにします。世界各国で実践的なお客様向けトレーニングコースを実施しているほか、カスタマイズされたトレーニングソリューションをはじめとした公開および社内イベントも提供しています。

LRQAの気候サービスについて詳しくは、www.climate-change.jpをご覧ください。または、LRQA-Japan-Marketing@lrqa.com宛てにEメールでお問合わせください。CDPの検証に関するホワイトペーパーは、www.cdproject.netでお読みいただけます。



Lloyd's Register and LRQA are trading names of the Lloyd's Register Group of entities. Services are provided by members of the Lloyd's Register Group, for details see www.lr.org/entities

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド(LRQA ジャパン)

〈横浜本部〉 〒220-6010 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 10F
Tel: 045-682-5290 Fax: 045-682-5289

〈神戸事務所〉 〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通4-1-22 アーバンエース三宮ビル 9F
Tel: 078-261-1200 Fax: 078-261-0780

www.lrqa.or.jp

CDP012001211